

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	教育学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院)

II. 自己点検・評価(2010.5.1~2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA~Dの4段階とし自ら評価した。A~D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育学部における専門教育の問題点を抽出し、完成年度以降の改善に資する。	→「教育課程を常に検討する委員会の有無と検討状況」「実習科目を常に検討する委員会の有無と検討状況」「教育課程および実習科目の運営を担当する教職員の連絡調整に関する会合の有無と検討状況」「学生へのアンケート調査」	B	B			
2. 導入教育として設置した基礎演習の教育成果の検証を行い、充実させる。	→「基礎演習担当者による情報交換の場の有無とその開催頻度および検討状況」「学生へのアンケート調査」	B	B			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.2.1	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 (説明) 教育学部の教育課程のうち、専門教育科目の大部分は、免許・資格取得に係る教科目であることから、学部全体の教育課程を検討するカリキュラム委員会および、免許・資格にかかわる教科目・教育課程の課題を検討する幼稚園教諭・保育士養成課程担当者委員会、小学校教員養成課程担当者委員会で、専門教育の中味やカリキュラム上の課題を検討し、完成年度以降の学部再編に向け準備を進めている。
☆ 小項目6.2.2	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。 (説明) ①1年生の春学期と秋学期に開講される基礎演習について、学期ごとに1度、担当者間の情報交換を行うための会議を実施している。②3、4年生のための研究演習(ゼミ)選択方法とその手順について、学生一人ひとりの興味・関心にそったゼミ選択ができるようカリキュラム委員会、学部長室会、教授会での協議を経て決定し、学生に周知した。③保育士養成課程に関する法令改正に伴い、保育士養成課程の科目を変更した。④中学校教諭一種免許状(社会)および、高等学校教諭一種免許状(公民)の課程認定のために、臨床教育学科のカリキュラムの一部を変更した。
その他	

《評価指標データ》

MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
 ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
 専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注) 出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.2.1	幼稚園教員・保育士養成課程担当者会および小学校教員養成課程担当者会を1~2カ月に1度開催して、課題の抽出と改善策の検討を行っている。
☆ 小項目6.2.2	教育学部教員の懇談会を開催(2010.7.28)し、教育学部教員がほぼ全員参加して、3,4年生のゼミ選択の方法について協議した。また、教育学部の理念・目的に基づいた現行のカリキュラムおよび、完成年度以降の学部の「将来ビジョン」に関連したカリキュラムの検討事項を確認した。
その他	

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

注) 出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.2.1	幼稚園教員・保育士養成課程担当者会および小学校教員養成課程担当者会を継続的に開き、現行の専門教育の課題を整理して、完成年度以降、再編される学部の教育課程に活かす。
☆ 小項目6.2.2	教育課程と教育内容について、学部全体の共通理解を図るために、将来ビジョンを検討する委員会での検討事項をもとに、継続的に情報交換の場を確保する。
その他	

◎改善すべき事項

※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注) 出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.2.1	2013年度の学部再編に向けた改善策の整理
☆ 小項目6.2.2	継続的な情報交換の場の設定と教育評価の検証
その他	

【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注) 出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.2.1	学部の専任教員全員が学部再編に向けた教育課程の課題を共有し、その改善に向けて主体的にかかわることができるよう、学部内の各種委員会での提案事項を整理し、学部再編に向けたカリキュラムに活かすための体制を作る。
☆ 小項目6.2.2	学部の導入教育科目としての基礎演習は、複数教員が担当しており、担当者が交替することもあるため、授業の基本的方針や授業内容について情報交換や相互評価のための担当者会を学期ごとに1~2度開催する。また、3,4年生対象の研究演習については、選択方法や授業内容について、学生の授業評価を参考に教育成果の検証を行う。
その他	

◎自由記述

《点検・評価》&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価専門委員会の評価＞

【学外委員】

○2013年度の学部再編に向けて、適切な対応がなされていると判断されます。

【学内委員】

○順調に検討が進められており、そのことについて適切に点検評価が行われています。

○教育課程を体系的に編成しているかということに関し、教育学部の再編の検討の中での重要事項になると思われます。その検討結果が待たれます。

○本項目は、検討経緯や結果を説明するのではなく、授業科目を適切に開設し教育課程を体系的に編成しているか、各課程に相応しい教育内容を提供しているか、について聞いています。従って、要素や大学基準協会の留意すべき事項などを参照され、このような視点での完成年度以降のことだけでなく現状の説明が求められます。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目6.2.1

基盤評価：「【学士】当該学部の教育における教養教育、専門教育の位置づけを明らかにしていること」「【修士・博士】当該研究科等の教育におけるコースワーク、リサーチワークの位置づけを明らかにしていること」「【専門職】当該研究科等の教育における理論教育、実務教育の位置づけを明らかにしていること」

達成度評価：「当該学部・研究科の教育課程の編成・実施方針に従い、学生に期待する学習成果の修得につながる教育課程となっている」（評価に当たっては、当該大学の説明・証明から、下記のことが明らかであるかに留意する。）

- ・方針と教育課程の編成・実施実態の整合性
- ・学生の順次的・体系的な履修への配慮
- ・各学位課程の固有の課題に応える措置（例えば、学士課程においては、初年次教育・高大連携への配慮など）

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

《現状の説明》6.2.1の冒頭に下記のように追記。

★教育課程は、総合教育科目と専門教育科目によって体系的に編成されている。